



マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです

18の視点 一般質問



議員が独自の視点で市に考えを聞く一般質問はこれまで最多の18名が登壇。

18のキーワードから興味あるページはどうぞ。議員の解説も必見です！

(一般質問全編は各議員のQRコードから録画映像でご覧いただけます)

- 市長選挙対応
- 原発再稼働
- 下水道事業
- 稼ぐ燕市
- 医療的ケア児
- 今後の農政
- 人口密度向上
- 産業振興
- 教育の課題は
- 政策提案
- 政治姿勢
- 市民参画
- 柏崎刈羽原発
- 農地転用
- 業務見直し
- LINIE通報
- 学校給食
- 学校の適正配置

P.16 P.15 P.15 P.14 P.14 P.13 P.13 P.12 P.12 P.11 P.11 P.10 P.10 P.9 P.9 P.8 P.8 P.7

質問項目▶ 選挙管理委員会の仕事について 市長の政治姿勢 柏崎刈羽原発の再稼働問題



選挙違反をなくすためには

タナカ・キン
(市民クラブ)



内容に関するものが1件。告示曰以降は、選挙期間中の政治活動が認められた確認団体の車両による連呼行為に関するもの2件。ポスターの掲示場所や事務所表示に関する

問 報された佐野陣営の違反の事案と件数は。また選管はそれらの事案に速やかに対応できたのか。

答 通報された事案が違反かどうかは警察が

 12月5日の三條新
聞に大変ショッキ
ングな記事が掲載された。
見出しは「佐野市長を公
職選挙法違反で告発」と
いうものである。来年は
市議選が行われるが、選
挙違反のない公明正大な
選挙が行われることを
願つている。



公職選挙法は昭和33年に制定された。改訂はされているが、時代に合っていない部分がある。

もの3件。個人演説会の開催日に関するもの1件。投票日当日の選挙運動に関するものが1件。これらは通報に対し、直ちに現地確認を行い、事実確認の上、警察へ情報共有するとともに必要に応じて候補者に対し連絡を行っている。現地確認を速やかに行える体制づくりを、できる限り人員を配置して整えたい。



質問項目▶ 新市長体制での取り組みについて イノベーション創出事業について



燕市の産業振興に何をする？

たざわのぶゆき
田澤信行
(新風みらい)

答弁 企業誘致や民間主導型の新規産業創出を

燕市の産業振興、雇用促進に関して、重視的に取り組みたい施策を伺う。

企業誘致や民間主導型の新たな産業創出を推し進めるほか、海外を含めた新たな販路拡大や受注増加を目指した施策を講じていきたい。

うさぎもちハレラテつばめは公共施設も近接しておらず、それらの施設機能を最大限に發揮できる「他市にはない子供の遊び場の拠点」である。多様な世代の交流の場となり得る「新しい交流拠点」としてボランティアの魅力を発信し、燕市への移住や定住の促進につなげていけたらと考えている。



うさぎもちハレラテつばめ「わいわいひろば」

創出したな価値の

イノベーションを

キーワードにした新たな付加価値の創出、魅力あるまちづくりへの方向性を検討していかがかと思う。

イノベーション拠点を契機とした地域の付加価値創出や、魅力あるまちづくりにつながるような施策を研究していくと考えている。

質問項目▶ 新市長の政治姿勢について



小池工業団地拡充の進展は

さいとうかずや
齋藤和也
(創成)

答弁 ニーズ調査踏まえ、整備へ協議推進中

④学習環境の整備と併せて従来施策を継承・発展させ、個性を尊重し地域・世界で活躍する人材育成を進め、社会変化に応じた施策を研究し、教育委員会と連携して子供の健やかな成長につなげる。



小池工業団地の南側(つばめ物流センター下部)の拡充

教育について

鈴木前市長の下、ふるさと燕への誇りと愛着を育み、特色ある教育を推進してきた。

①発達障がいを含む特別支援の早期発見・早期対応と個別支援の充実。
②増加傾向にある不登校への対応。
③部活動の地域展開の着実な推進。

④学習環境の整備と併せて従来施策を継承・発展させ、個性を尊重し地域・世界で活躍する人材育成を進め、社会変化に応じた施策を研究し、教育委員会と連携して子供の健やかな成長につなげる。

成を進め、社会変化に応じた施策を研究し、教育委員会と連携して子供の健やかな成長につなげる。AIの調査研究や導入についての現状は、費用対効果も見ながら前向きに導入を検討している。

国ガイドラインや年齢制限などのリスクを踏まえ、教員用と児童生徒用を分けて慎重に検討し、職員負担や予算も大きくなる。

質問項目▶ 今後の農政について 減災対応について



今後の農政の方向性

あじいひでと
藤井秀人
(新風みらい)

答弁 今後の課題は担い手の確保と高収益化

現在の総合防災訓練の実施状況は、令和7年3月時点ですべての事業が進められています。市農業を未来につなぐには後継者の定着、とりわけ若者の農業への参入は必要不可欠。各種事業を実施することにより、若手農業者を支援するとともに、新規就農を希望する者への支援も併せて行っています。



コロナ前の劇場型防災訓練

答

担い手として大きな力となる消防団の確保に尽力しているところだ

が、定数の確保が難しい状況。自治会、自主防災組織や関係機関と連携しながら地域の担い手確保に努めていきたい。

答

市街地の人口密度が急低下し、既存インフラの利用が減る一方、宅地開発による整備拡大は続いている。さらなる人口減少と老朽化が致命的なリスクとなる。

既にインフラが整った市街地の人口密度向上は、極めて重要な課題である。

質問項目▶ 持続可能都市の実現

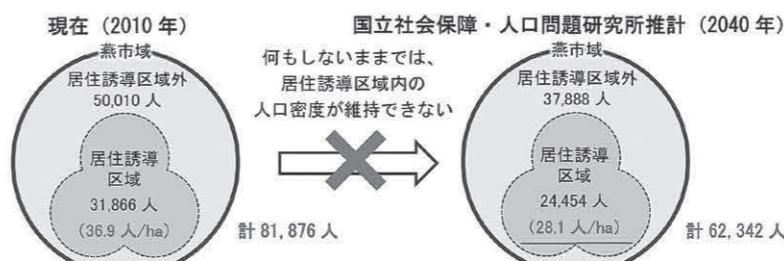


市街地の人口密度の向上を！

こばやしよしあき
小林由明
(創成)

答弁 しっかりと居住誘導をやっていく！

一定の人口密度に支えられてきた医療福祉・子育て・商業等の生活サービスの提供が困難になります。既にインフラが整備されている市街地の人口密度の維持向上を図り、都市経営の経済性を高めることができると必要がある。既にインフラの拡大を抑制していくことによって、過剰となりかねない生活化が、将来的な都市経営にどのような影響をもたらすか。



DID密度30人/ha未満では、生活サービスが著しく低下し行政コストも激増するとされている（画像等データ元：燕市立地適正化計画）

市民の生活を立ち行かせるために必要ではないか。都市の持続可能性について、インフラコントロールによる整備空き家対策、中心市街地の魅力向上など、各施策に総合的に取り組んでいきたい。



質問項目▶ 市制方針について 外国人住民について



市民参画の仕組みは

答弁 新たな参画手法を検討する

稻村隆行
(創成)

問 燕市の外国人住民は5年前の約1・6倍に増加しており、地域のルールが共有されずにトラブルになるのではないか等

答 燕市の外国人住民は5年前の約1・6倍に増加しており、地域のルールが共有されずにトラブルになるのではないか等

問 外国人住民増加への対応は

答 市民参画、職員意見の反映等、具体的にどのような仕組みの導入を検討しているか伺う。

問 これまで実施してきた市政懇談会等に限らず、職員が地域に赴いて市民ニーズを直接把握する機会を増やすなど、民間若者世代の意見をより反映する仕組みを検討する。

市民の声を政策に生かす新たな参画の仕組みが検討されている
(燕市役所)

の懸念を持つ市民が一定数いる。行政としてどのように向き合っていくか伺う。

答 外国人住民を特別扱いせず、地域のルールが守られない場合は適切に指導しながら、市民が安心して生活できるように対応する。

質問項目▶ 柏崎刈羽原発について



柏崎刈羽原発について

土田昇
(日本共産党議員団)

問 県知事が柏崎刈羽原発の再稼働を容認したことに対し佐野市長は『重い決断をして敬意を表

答 県知事が柏崎刈羽原発の再稼働を容認したことに対し佐野市長は『重い決断をして敬意を表

問 県知事答弁に重い決断を感じる

答 県知事答弁に重い決断を感じる

問 市民参画の仕組みは新たに検討する

答 市民参画の仕組みは新たに検討する



柏崎刈羽原発の今後の見通しは

ることか伺う。

答 様々な山積する政策課題がある中で、一つの意志決定に対して職を賭してということは、本当に重い決断をされたと感じている。

質問項目▶ 市長の政治理念 燕市の顔となる人物について 近年の防災の動向 燕市合併20周年について



市民が政策を直接市に提案！

答弁 市政に興味関心を持って頂くことに注力

山崎光男
(無所属)

問 地域の世代間連携について、市民が市に政策を直接提案できる仕組みづくりについて伺う。

答 導入に当たっては、拙速に過ぎることなく、その効果や課題を慎重に検討する。

問 市長が提唱する外部から人材を登用していく副市長2人体制についての副市長2人体制について伺う。

答 市長が提唱する外部から人材を登用していく副市長2人体制についての副市長2人体制について伺う。

問 市長が掲げる「みんなでつくる燕市」には、市の現状を多くの市民に共有し、ともに考えていくべきという思いが込められている。今後、市民に負担をお願いする場面も想定されるため、従来の枠を超えた市民参画の仕組みを検討し、丁寧な説明と理解の共有を重ねていく考えが示されている。

答 市のHPについては、掲載内容をさらに充実していかたい。また企画展については、「これまでも節目の年には開催してきたが、今後も随時行ってみたいと考えている。



外国人向けに、やさしい日本語と英語で書かれた「防災かるた」が販売されている

問 インクルーシブ防災について、外国人居住者に分かりやすく的確に防災情報・災害情報を伝えられるか。市HPや防災ガイドブックに「やさしい日本語」を活用できないか。

答 現在、市では、外国人向けの燕市生活ガイドブックを配信している。今後、やさしい日本語を防災情報の提供に活用できなか検討していく。

問 やさしい日本語は外国人に有用

質問項目▶ 市長の政治姿勢



どう臨む、新年度予算編成



答弁 稼ぐ、育てる、燕市はひとつを3本柱に

渡邊広宣
(市民クラブ)

問 人口減少社会を前提に施策の展開が望まれる中、新年度予算編成方針と最重要課題について伺う。

答 市長選挙公約を十分考慮し、高い成果が期待できる事業や緊急性の高い事業に最優先で財源配分することを基本に、人口減少社会対応を最重要課題として「稼ぐ燕市、育てる燕市、燕はひとつ」を意識した予算編成をする。その際、令和8年度予算是令和9年度以降に向けての準備期間と捉えている。

今年、合併20年。
21年目に向けて新たな展開に期待、新燕市へ

人口減少社会を前提に施策の展開が望まれる中、新年度予算編成方針と最重要課題について伺う。

人口減少社会を前提に施策の展開が望まれる中、新年度予算編成方針と最重要課題について伺う。

マークしている質問項目は本文に内容を掲載しています。

質問項目▶ 小中学校の適正配置 心を育てる教育



小中学校の統合・複式を問う

おかやまひでよし
岡山秀義

(創成)



答弁 児童生徒数の動向を踏まえ検討している

答 本市における小中学校の適正配置の基本的な考え方を伺う。どのように視点で検討を進めていくのか、現状と今後の見通しについて伺う。

児童生徒数が大きく異なることなど、学校を取り巻く社会状況が変わってきていくことにも踏まえることや、保護者や地域住民へ丁寧に説明をしながら計画していくことが重要である。

少子化がさらに進み、子供が「生きる力」を培うことができると学校教育を保障する観点から、学校の適正配置を検討することが必要である。適正配置を検討するに当たっては、施設の老朽化や、交通環境の整備、地域により人口動態が大きく異なることなど、学校を取り巻く社会状況が変わってきていくことにも踏まえることや、保護者や地域住民へ丁寧に説明をしながら計画していくことが重要である。

燕市HP
「小中学校の適正配置」

児童生徒数は令和12年度722人の減となる見込み。統合や複式はどこの学校でも起こり得る

到來した学校から順次検討している。現在、分水北小学校と島上小学校の2校で子供たちのより良い教育環境に関する検討を行い、燕市立学校のあり方検討委員会を両校に設置し、延べ6回の委員会を開催して検討を重ねているところである。

カメラを2台追加し 計3台で配信

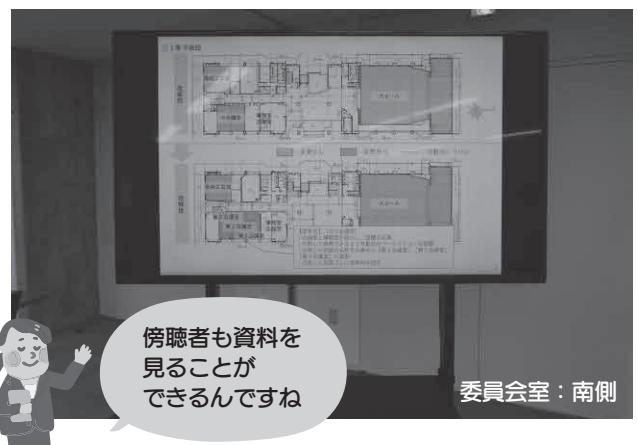
議員側・執行部側にそれぞれ1台ずつを新たに設置し、映像の死角を解消しました。さらに発言者の議員名や執行部側の役職名が同時に表示されます。12月議会から委員会の様子も臨場感を持ってお伝えしています。

After 委員会室もこう変わりました

傍聴席側にモニターディスプレーを設置

傍聴席への
資料表示のため
43インチディス
プレーを新たに
2台設置しました

委員会室にも15席
ほどの傍聴席を用意
しております。お気軽
にお出でください。



委員会室：南側

燕市議会では「広く市民に開かれた議会」に向け取り組んでおり、アンケートを実施しています。今後の議会運営の参考とさせていただきますので、議会の傍聴にいらした際やインターネット配信をご視聴の際にも、アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

市議会の
傍聴の
ご案内議会定例会・
臨時会の中継・
録画映像はこ
ちらからご覧
いただけます